

令和3年度国立障害者リハビリテーションセンター学院
学校関係者評価委員会報告

各評価項目について

<p>1 教育理念・目的・人材育成像</p> <p>○入学定員割れや卒業支援の現状について、教育目的や人材育成と関連付けた説明を要するという自己評価を踏まえて、第三者評価として承認し、全項目について自己評価どおりとする。</p>
<p>2 学院運営</p> <p>○項目 No. 8 の地域社会に対するコンプライアンスについて、教育体制として国の組織として適切に実施されていると思われるため、評価を3から4に修正。</p> <p>○学院全体のFDとして、研究倫理に関するe-ラーニングの実施を検討いただきたい。</p>
<p>3 教育活動</p> <p>○項目 No. 12、19、20 については、中期目標や修学の手引き等の資料を見ると、適切に実施されているように思われることから評価を3から4に修正。</p> <p>○それ以外の項目については自己評価どおりとする。</p>
<p>4 学修成果</p> <p>○卒業率を上げて退学率を減らすにはどうするか、カリキュラム改訂も含めてよくしていくという努力が必要であるという考えから、自己評価のとおりとする。</p>
<p>5 学生支援</p> <p>○項目 No. 35 の社会人のニーズを踏まえた教育環境については、言語聴覚学科で職業訓練給付金が受け取れることなどから、評価は3から4に修正。</p> <p>○学生支援室がかなり機能しており、今後の進展が期待される。</p>
<p>6 教育環境</p> <p>○項目 No. 37 の施設設備の整備について、評価3の理由が「必要なものは揃ってはいるが老朽化が著しく学生の満足度を考えたため」とのことだが、必要なものが揃っているのであれば、評価は4でよい。</p> <p>○項目 No. 39 の事故防止予防対策について、各学科において学生への説明・指導や報告の体制づくりを行っていることから、評価を3から4に修正。</p> <p>○今後の展開としては、学院としての安全マニュアルの作成を改善点として残す。</p> <p>○項目 No. 40 の防災に対する体制整備については、非常階段以外の避難経路がない（主に車いすを想定）ことから、評価を3のままとし、今後の改善に期待する。</p>

<p>7 学生の受け入れ募集</p> <p>○項目 No. 44 について、自己評価が3である理由を確認したところ「就職状況がホームページに記載されていない学科があったため」とのことだが、ホームページに掲載されていないがオープンキャンパス等では伝えていることや公開されている情報は正確であることなどから、評価は4でよい。</p> <p>○項目 No. 45 については、妥当でない納付金を受け取っていることはないので、評価を3から4に修正。</p>
<p>8 法令等の遵守</p> <p>○全ての項目について、自己評価どおりとする。</p>
<p>9 社会貢献・地域貢献</p> <p>○全ての項目について、自己評価どおりとする。</p>
<p>10 全体を通して</p> <p>○手話通訳学科と義肢装具学科については高等教育無償化の機関として妥当であると認める。</p> <p>○評価項目の内容がリハ学院と合っていない部分があると思われる点については、読み替えるなり、内部的な合意で評価をより精度をあげていくということをお願いしたい。</p>
<p>11 その他</p> <p>○各学科の目標・課題、意識、改善評価などについて、設定している目標がそれぞれ違うので、学科毎に評価する部分と共通して評価する部分と分けた方がいのではないか。</p> <p>○退学率や留年率など、数値による統計資料で、評価の継続性をご検討願いたい。</p>